

1 編集委員会 谷口 信行  
平成25年度は、雑誌出版に向け、委員会を開催し、7月には第2巻1号を発行した。平成26年2月には第3巻第1号を発行した。

2 財務委員会 矢形 寛  
なし

3 教育委員会 田中久美子  
▶臨時教育委員会の開催—今後の方向性の検討  
▶乳房超音波ガイド下インターベンション講習会の準備委員会  
—インターベンション研究部会との合同開催(2回)  
▶第1回 乳房超音波ガイド下インターベンション講習会開催(JABTS31)  
▶学術集会におけるワークショップ「組織型を極める」の企画・実施  
「乳頭部腫瘍」 JABTS30  
「乳管内乳頭腫」JABTS31

4 広報委員会 橋本 政典  
▶主にHPの改訂  
学会名変更に伴う各種書類の改訂  
学術集会の終了処理など  
学会誌のPDF版の掲載  
事業計画の掲載

5 会則委員会 古川まどか  
JABTS会則委員会は、JABTS理事会のもとに、理事会から諮問された各種会則に関する諸問題や検討事項を担当している。今年度の活動内容について報告する。

1. 新規委員会発足に伴う委員会内規の作成、追加。
2. 委員会活動に関する細則の改正。
3. 名誉会長、名誉会員、特別顧問等に関する細則作成。
4. 理事の任期、理事選挙に関する細則の改正。

6 国際委員会 藤本 泰久  
1. ネパールでの国際交流  
平成25年2月にネパール派遣団第8班として計7名の方がネパールへ行き、BATSON合同カンファレンスを開催する予定であったが、参加者の都合により平成26年度秋に延期となった  
2. JABTS31

国際委員会企画。  
平成25年9月22日、第31回JABTSにて“Ultrasound in breast cancer”という国際セッションを企画し、台湾、韓国の先生を招聘した。

7 用語診断基準委員会 渡辺 隆紀  
▶乳房超音波診断ガイドライン改訂第3版作成：2014.5発刊予定  
▶BC-04 feasibility study終了  
▶BC-04 observational study開始  
▶BC-02研究：画像収集および画像中央判定

8 甲状腺用語診断基準委員会 鈴木 眞一  
1)GB改訂第3版編集作業。  
2)ドプラエコーの甲状腺診断基準への取り込み  
3)福島における小児甲状腺超音波検査にかかわる支援  
4)福島における超音波検査資格講習会への支援

9 倫理委員会 森島 勇  
理事会からの審議事項がなく、活動はなかった。

10 利益相反委員会 大貫 幸二  
▶委員会を立ち上げ、委員長に大貫幸二、副委員長に中谷守一先生、委員に阿部聡子先生、亀井桂太郎先生が就任した。  
▶利益相反指針を作成し(メール会議)、理事会に提出した。  
▶利益相反委員会内規を作成し、理事会に提出した。

11 新技術研究部会 椎名 毅  
画像データベースの利用形態として、CADeおよびCADx開発など具体的な条件を設定し、画像の統計的性質、形態的な特徴などの基礎的な画像特徴量を記載して付加価値の高いデータベースの構築について協議した。

12 フローイメージング研究部会 奥野 敏隆  
▶研究部会会議  
平成25年4月21日(第30回JABTS コラッセふくしま 福島市)  
平成25年9月23日(第31回JABTS 神戸国際会議場 神戸市)  
▶造影超音波ワーキンググループ会合  
平成25年4月20日(第30回JABTS コラッセふくしま 福島市)

平成25年5月26日(大阪市)  
平成25年9月22日(第31回JABTS 神戸国際会議場 神戸市)

・乳房超音波診断ガイドライン改訂第3版の第Ⅱ章インターベンションの改訂執筆作業

▶ 研究部会学術活動

- ・「乳腺造影超音波up to date・JABTS BC-04進捗状況報告」  
平成25年4月21日(第30回JABTS コラッセふくしま 福島市)
- ・「乳腺診療におけるソナゾイド造影超音波の有用性と位置づけ」  
平成25年9月23日(第31回JABTS 神戸国際会議場 神戸市)
- ・乳房超音波診断ガイドライン改訂第3版の「フローイメージング」の分担執筆作業

13 検査技術研究部会 尾羽根範員

第29回JABTS(北九州)での研究部会企画「乳腺嚢胞を考える」での指摘を受けての課題である小さな乳癌の画像について検討した。

第31回JABTS(神戸)にて、班員から収集した症例画像の特徴を取り上げた研究部会企画「小さな乳癌の画像を考える」を開催した。

14 乳がん検診研究部会 角田 博子

1)JABTSの超音波診断ガイドラインの改訂にあたり、検診研究部会においても、昨年来とりかかり、すでに理事会の承認を得ている要精査基準の改訂に関してガイドライン原稿の作成を行った。症例の図も今までのものから新しいものに入れ替えを行った。

2)またこの精査基準について、英語版を作成することが部会内で賛同を得、現在、初訳は終了したところである。

15 インターベンション研究部会 位藤 俊一

▶ 研究部会会議

- 平成25年4月21日(第30回JABTS コラッセふくしま 福島市)
- 平成25年9月23日(第31回JABTS 神戸国際会議場 神戸市)

▶ 研究部会学術活動

- ・『第6回ケースカンファレンス——次の一手は——』  
平成25年4月21日(第30回JABTS コラッセふくしま 福島市)
- ・『第7回ケースカンファレンス——次の一手は——』  
『第1回 JABTS乳房超音波ガイド下インターベンション講習会』  
平成25年9月23日(第31回JABTS 神戸国際会議場 神戸市)

16 精度管理研究部会 中島 一毅

▶ 前向き多施設共同研究 JABTS BC03 :

必要登録数が登録されたため、聖路加国際病院にて数回の中央画像判定委員会を開催し、150例以上の画像判定が終了した。

▶ B mode : 標準画像研究班 :

リーダーである森田孝子先生よりこれまでの研究結果をまとめて頂いた。ガイドラインへの投稿が間に合わなかったため、今後、論文化し、JABTS学会誌への投稿を予定している。

▶ 超音波精度管理ファントム研究班 :

現在のファントムの有用性、品質管理について研究を終えた。リーダーである桜井正見先生より本ファントムの有用性に関する研究報告を論文化していただき、JABTS学会誌に論文が掲載された。

▶ エラストグラフィ精度管理研究班 :

エラストグラフィ精度管理研究班での分類方法などの研究進捗状況が世界でも早いペースで進んでいたことから、2012年、年末より日本超音波医学会(JSUM)の教育委員会にエラストグラフィ小班を立ち上げて頂き、本研究班のメンバーを含めたガイドライン作成のための組織を編成した。この委員会と本研究班の共同で、昨年、JSUM & JABTSのエラストグラフィガイドラインを作成し、JUMに投稿、掲載された。

17 バーチャルソノグラフィ研究部会 中野 正吾

平成25年4月20日、福島にて第2回バーチャルソノグラフィ研究部会を行い、臨床研究についてのbrain stormingを行った[出席者:中野正吾, 明石定子, 榊原雅裕, 高橋麻衣子, 高丸智子, 舩本法生, 山本滋, 吉田美和 (敬称略)]. 1)MRI-detected lesion検出におけるRVS/Vnaviの有用性, 2)術前化学療法の効果判定におけるRVS/Vnaviの有用性について検証を行うことが検討された。2)についてはバーチャルソノグラフィを使用することで新たなモダリティとしての可能性が示唆されるものの、現行の機種では術者や施設間でのデータの取り扱いに問題があるため、単施設でのfeasibility studyの結果を待つこととした。1)について臨床研究を行うこととし、次回までに班長がプロトコル作成を行うこととした。

平成25年9月22日神戸にて第3回バーチャルソノグラフィ研究部会を行い、研究課題:乳房MRI-detected lesionの検出における超音波fusion技術(real-time virtual sonography/volume navigation)の有用性の確認(多施設共同第Ⅱ相臨床試験)としてプロトコルを提示し、検討を行った[出席者:中野正吾, 明石定子, 植松孝悦, 磯本一郎, 佐竹弘子, 枝園忠彦, 高丸

智子, 舛本法生, 二村学(敬称略)]。

MRI-detected lesionの定義, 本試験の対象者, 症例数, prone, supine MRIのプロトコール(各施設でのプロトコール, 3Tもしくは1.5T, コイルの使用), 確認MRIの必要性, エンドポイント(success rate), follow up, 同意書, 登録票, 試験名

について意見交換を行った。

18 甲状腺結節性疾患有所見率調査研究会 谷口 信行  
平成24年度に行った3県調査の2次検査者を対象に, その後の精密検査結果をまとめ, 環境省に報告を行った。